

○地震時には地盤が変形してしまい、安定性が確保できない。

○地震時の安定性を確保できる断面とする必要がある。

地震時には  
「円弧スベリ」が生じ、  
護岸全体が被災を受ける。

< <

**海岸保全施設として適正な断面の検討**  
**－ 護岸構造の検討 －**

## 護岸検討対象区間



## 討の目的

- 円弧スベリに対する安定性
- 矢板式（矢板強度と頭部変位）
- 重力式（滑動、転倒、支持力）

### 海岸保全施設として適正な断面を検討して選定する

複数の案から  
適正断面案を選定

- （安定性、施工性<sup>など</sup>）
- 環境面（海と陸の連続性、生物、景観<sup>など</sup>）
  - 利用面（親水性、まちづくり<sup>など</sup>）
  - 経済面（工事費）